

BELCA賞 ベストリフォーム・ビルディング部門 表彰

建物名称 花と工芸の館
所在地 北海道室蘭市中島本町
建物用途 商業施設(現在)
福祉厚生施設(改修前)
竣工 1941年
改修 1989年5月30日
所有者 新日本製鐵株式会社
設計者 株式会社 アーブ建築研究所
施工者 清水建設株式会社



審査評

本物件は、北海道室蘭市にあり、旧建物は昭和16年に建てられた新日本製鐵の福祉厚生施設であったが、創建以来50年を経過し、すでに老化の極に達していた。

推薦作「花と工芸の館」は、その土地を活用して同社の新事業の展開を計る設計コンペが行われたが、その入選物件である。

本物件が高く評価される点は次のとおりである。

- ①当設計コンペに当たり、新築を提案した他の4案に対して、天命を全うしたかの如き建造物の再生を提案したこと。これには設計者ばかりではなく、その再生案を採用した同社の決断も高く評価したい。
- ②延面積400坪を1億2千万円という最小限の経費と3ヶ月の工期で再生を終え、今では同社員のみならず、市民が集う観光の中心になっていること。
- ③建物の外観をその古い形態を変えず、周りの環境を配慮して最も効果の上がる白一色としたこと。白色の平葺とした屋根はその面の美しさを素直に表現することにより、旧来の大らかな中の変化を巧みに利用し、効果を最大限に上げている。

これらによって、北国に咲く一輪の花にも似た可憐な印象を与えてくれる。